

F o r e s t 通 信

11

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.298

巻頭 photo 高尾山の生き物たち



エナガ(エナガ科)

野鳥ファンに限らず多くの人から、「可愛い、愛らしい」との声があがるのがエナガです。エナガの名前の由来は、長い尾を柄杓の柄に見立てたところから付けられたとか。

エナガは小型で動きが速いので撮影には苦労しますが、時には枝上でジーとしてくれる時があり、このような時にはエナガに感謝しつつ、シャッターを押し続け、やっと1枚ものにすることができます。裏高尾町で撮影。

(写真・文 大作栄一郎氏)



ツタウルシ(ウルシ科)

落葉性のつる植物で、長い柄のある3枚の葉が特徴です。紅葉シーズンには真っ先に色づくので見分けるのが容易ですが、その他の季節(画像右下)は周囲の緑に紛れて、何食わぬ顔で樹の幹に巻き付いたりしているため注意が必要です。うっかり触ると接触性皮膚炎をひき起こし、人によってはひどくかぶれます。過敏な人はそばを通るだけでかゆくなると言われます。

かぶれの原因は、ウルシ科の多くの植物に含まれる、「ウルシオール」という物質で、伝統的な漆器の製造にも用いられます。

いろはの森

高尾山は四季折々、多種多様な植物を観察することができますが、野生動物もまた多く生息しています。人気者のムササビから、タヌキ、キツネ、イノシシ、ノウサギ、美しい羽根を持つ野鳥など、都心から近い山とは思えないほど豊かな動植物相を形成しています。

私の大学が北海道で、学校周辺が広大な実習林(原生林)に囲まれていたのもあり、野生動物が数多く生息しており、なかでもクマが身近な脅威でした。実際には、在学中はキタキツネとタヌキくらいしか遭遇しなかったのですが、林内を歩く際にはクマよけの鈴をリンリン鳴らしながら歩いたものです。

ところで、高尾山にはクマは定住していませんが、最近ニホンジカの生息域が急速に拡大し、高尾山にじわじわ迫ってきているそうです。見た目は可愛いシカですが、その頭数の多さと繁殖力の強さで、周囲の植物を食い尽くし山を丸裸にしてしまう厄介な存在です。いったんシカが高尾山に侵入してしまうと、貴重な植生が壊滅する可能性が極めて高いとされています。その結果、土壌が露出し、土砂災害が起こりやすくなります。

シカを水際で食い止めるのは非常に困難なことです。高尾山の豊かな自然を守るため、関係各所が連携してこの問題にあたる必要があります。(ま)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

森林センターイベント

高尾森林ふれあい推進センターでは、森林とふれあいたいという市民の要請に応えるため、様々な活動を行っています。

1. 木工体験室と展示室～小さなお客様の来館増加～

今年度に入り、当センター庁舎一階に常設する展示室と木工体験室は、幼稚園児等の来館が増加し、大変盛況となっています。

団体利用のほとんどは、中央線や京王線沿線の多摩地域からですが、遠方は23区内からの園児等も訪れています。



墨田区内の幼稚園児の訪問



相模原市の幼稚園児のクラフト体験の様子

小さなお客様の来館に、職員やボランティア（FS高尾）のスタッフは目を細めながら対応にあたっていました。

利用する団体によれば、高尾山への登山にあたり、麓で子どもたちが体験できる場として当センターが利用しやすいとのことでした。

木工体験室等を団体で利用される方は、早めにお問合せの上、事前予約をお願いします。

2. 「子ども霞ヶ関見学デー」～農林水産省が大人気～

毎年、府省庁等は、霞ヶ関の省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会等とするため、「子ども霞ヶ関見学デー」を実施しています。

当センターは、農林水産省林野庁のスタッフとして8月8日、9日の2日間、農林水産省講堂で木製キーホルダー作りのブースを出展し、大勢の子どもたちとふれあいました。事前の受付では、開庁時間から大勢の親子づれが列を作り、会場となった農林水産省講堂の外まで長蛇の列ができました。

木製キーホルダー作りは、コースター程度の大きさに輪切りにした木片に思い思いの絵やコメントを書いて、金具を取付けるものですが、大人顔負けの力作も多く、びっくりです。

参加者のほとんどは、都内23区内からの親子づれで、府省庁等のブースを見て回ったお母さんからは、「府省庁等の体験のうち、農林水産省が一番いいよ」、「来年もやってね」等、大変な好評ぶりにスタッフの疲れも吹っ飛んだ2日間でした。



「大盛況の農林水産省講堂」の様子



作品の一部

森林教室 自然観察と丸太切り 八王子市立七国小学校



10月9日(水)、大平国有林に八王子市立七国小学校の5年生148名が訪れました。

午前中は自然観察に出発、初めて歩くであろう林道でポイントごとに解説を受け、「土がふかふか」、「道が細〜い」と、楽しそうな感想があがりました。また午後からは、センター職員が間伐のデモンストレーションを行いました。倒れた長い木を皆で運び、丸太切り用に短くカットしました。そして山についてのDVDを鑑賞した後、パワーポイントを使用した講義で森林について学ぶ班と丸太切りを行う班に分かれて、それぞれ熱心に取り組みました。

子どもたちの生き生きとした反応に、職員も充実した一日となりました。見送りの際も、バスの中から懸命に手を振ってくれた姿が印象的でした。

公募イベント 森の料理教室とクラフト体験

10月19日(土)、「日本産・原木乾しいたけをすすめる会との共催により、「森の料理教室とクラフト体験」を日影沢キャンプ場において開催しました。このイベントは、森林の産物であるしいたけ、乾しいたけの魅力をPRすることを目的に行われています。

最初に、普段はなかなか体験できない原木しいたけ狩りを親子で体験した後、保護者は料理研究家の堀江ひろ子さんの料理教室、子どもは丸太切りとクラフト体験に分けられました。料理教室では、乾しいたけを使った4種類のメニューが実演で披露され、試食した皆さんは口々に「おいしい」と舌鼓をうっていました。また、お昼には具だくさんのミネストローネがふるまわれました。

午後からは職員の案内で、いろはの道から林道を散策し、森林浴と30種類ほどの樹木についての学習を行いました。

今回は、参加者が少なかったものの、アンケート結果から乾しいたけへの理解や自然への親しみなどは深まったと感じられました。



職場体験 中学生の林業体験

職場体験は生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

当センターでは、林業体験などを組み入れたプログラムにより職場体験を受け入れています。

9月18～20日に八王子市立恩方中学校2年生2名が間伐体験、八王子市立第三小学校の森林教室の手伝い、高尾森林事務所の除伐の監督などの作業を体験しました。

また、9月25～27日に同市立横山中学校2年生3名が炭焼き、間伐、森林事務所の除伐の監督などの作業を体験しました。

生徒たちは間伐では切った木を玉切りし搬出しましたがその重さに驚き、造林の請負作業現場では作業されている方からの苦労話を聞くなど、林業について広く深く勉強していました。



information **参加者募集中!**

氷の華シモバシラ鑑賞と 富士山展望陽だまりハイク



真冬に咲く不思議な氷の華を鑑賞し、高尾山山頂から雄大な富士山を展望します。

- と き** 平成25年12月26日(木) 9:00~14:30
と ころ ケーブル高尾山頂駅~葉王院横富士見道・高尾山山頂(富士山展望)~紅葉台下巻道(シモバシラ鑑賞)~一丁平(昼食)~陽だまりコース・江川スギ経由いろはの道・美人ブナ・つり橋4号路~山頂ケーブル駅横(解散)
集 合 高尾森林ふれあい推進センター **9:00**
実 施 森林インストラクター東京会
対象者 30名(応募者多数の場合は抽選)
参加費 1人1,700円(別途ケーブル代自己負担)
持ち物 昼食、飲物、防寒具、タオル、双眼鏡(あれば)、筆記用具、デジカメ(あれば)、山歩きのできる服装
備 考 雨天中止

申込方法

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「氷の華シモバシラ鑑賞と富士山展望陽だまりハイク」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成25年12月12日(木)必着

編集後記

紅葉シーズンになりました。モミジやイチョウが美しく色づいていますが、ツタウルシなど、触ると皮膚炎をひき起こすウルシ科の植物も綺麗に紅葉しているので充分ご注意ください。運悪くかぶれてしまった時は、樹液が皮膚に染みこむ前に(10分程度といわれます)水またはお湯で丁寧に洗い流し、炎症を抑える薬があればそれを塗り、症状が長引くようなら医師の診察を受ける必要があります。事前準備をしっかりと、秋のハイキングをお楽しみ下さい。(ま)

information

高尾山もみじまつり開催

期 間 11月1日(金)~11月30日(土)
主 催 公益社団法人 八王子観光協会



秋深まる高尾山で今年も「高尾山もみじまつり」が開催されます。高尾森林ふれあい推進センターでは期間中の11月29日(金)、木工クラフト体験教室をひらきます。優しいぬくもりの木工クラフトを作ってみませんか。

日 程 11月29日(金)
時 間 9:30~15:00
場 所 ケーブルカー清滝駅前広場



☆もっくんを作ろう☆



今回の体験教室では、クラフト体験のなかでも不動の人気を誇る、「もっくん」を作ります。サクラなどの小枝に、目玉をつけ、口を描いたりして自由に顔を作ります。枝の先を削って色を塗ると、「えんぴつもっくん」の完成です。削らなくてもたいへんキュートです。

金具をつけてキーホルダーにすることもできます。

Forest通信 No.298

発行: 高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

